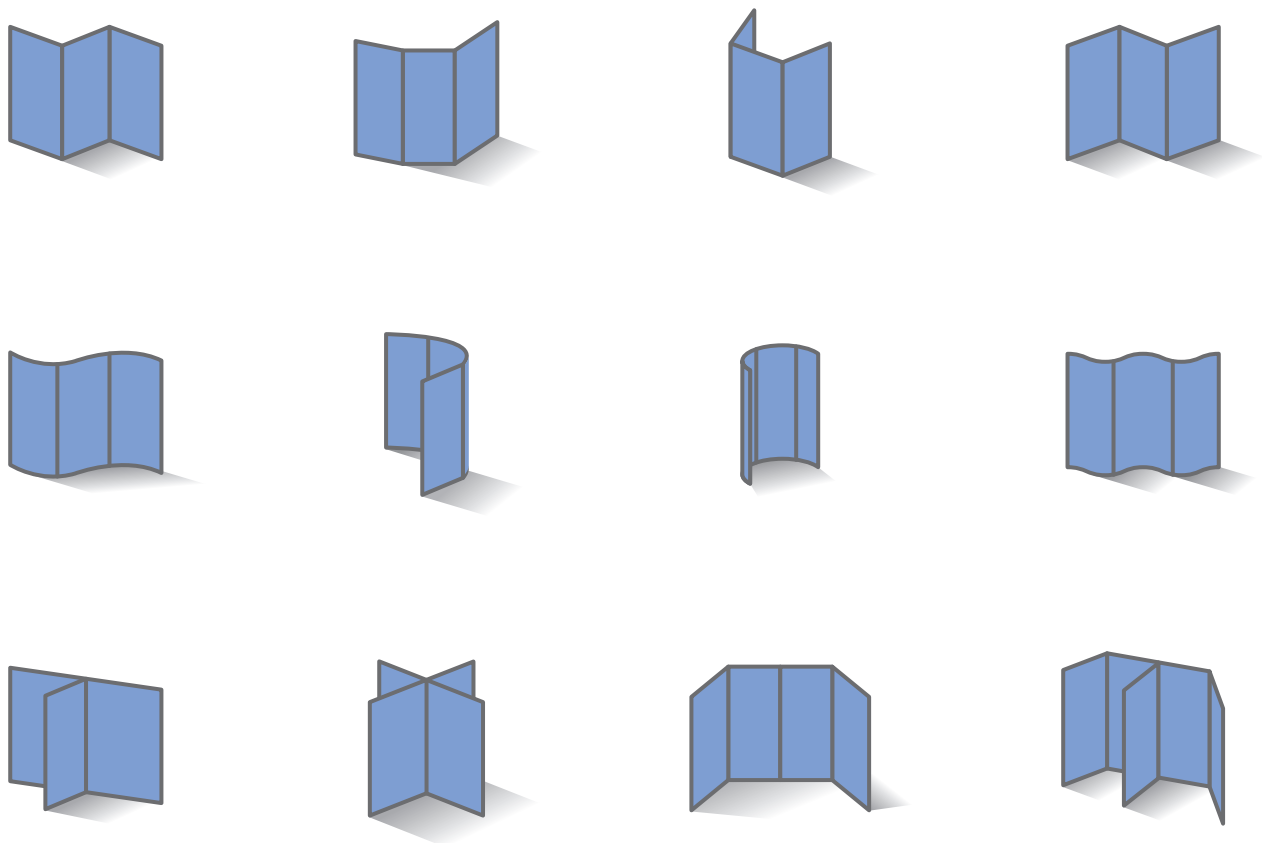




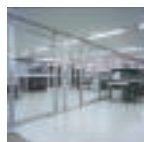
第45期 事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

いい空間には、いいパーティションがある。



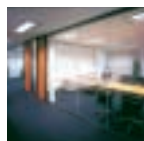
Contents



株主の皆様へ……………P1

トピックス……………P4

当社製品について ……P5



新製品紹介……………P6

財務ハイライト……………P7

財務諸表 ……………P9



グループ会社……………P11

会社概要 ……………P12

株式情報 ……………P13



販売ネットワーク……………P14



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社は平成17年3月31日をもって第45期を終了いたしました。ここに事業報告書をお届けし、その概況等につきましてご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

代表取締役社長

塚本幹雄



当期（平成16年度）の決算は、3期連続の増収、2期連続の増益となりました。経営成績のポイントをお聞かせ下さい。

A 当連結会計年度において当社グループは、念願であった売上高300億円の壁を突破することができました。

主な取り組みといたしましては、営業では、営業員の顧客訪問件数目標を立て、日々お客様との接点を増やし、より多くの情報からお客様への貢献に繋がる課題解決型の提案営業を行ってまいりました。このことが、受注実績を着実に上げられる営業体質への変換に貢献いたしました。このような「顧客密着」の営業活動及び設計事務所、官公庁、特定顧客等に対する設計織込み活動の強化により、昨年12月にオープンしました東京国際空港第2旅客ターミナルビル、本年2月に開港しました中部国際空港・セントレア、来年オープン予定の国立美術館展示施設・ナショナルギャラリー（仮称）等の著名施設に当社製品を納入し、コマニーブランド力を向上することができました。

市場別では、オフィス市場及び工場市場については、営業力の強化や提案営業の質の向上により、当社の主力製品であるハイパーティションの受注が増加しました。病院市場及び学校市場については、公共設備投資の減少から受注が伸び悩みました。

この結果、当連結会計年度の売上高は324億66百万円（前連結会計年度比17.3%増）と3期連続の増収となり、過去最高を更新しました。

損益面では、パーティションの主要原材料である薄板鋼板の価格上昇が継続しておりますが、利益重視の方針のもと、売価確保に努めるとともに、製造から施工までのロス排除に努めてきた結果、営業利益は18億22百万円（前連結会計年度比74.6%増）、経常利益は18億50百万円（前連結会計年度比89.5%増）、当期純利益は、法人税等調整額の影響もあり26億18百万円（前連結会計年度比

208.7%増）と前連結会計年度を大幅に上回る結果となりました。

事業の種類別では、間仕切事業につきましては、売上高は323億63百万円（前連結会計年度比17.2%増）、営業利益は18億33百万円（前連結会計年度比76.3%増）となりました。

その他の事業につきましては、売上高は1億2百万円（前連結会計年度比56.0%増）、営業利益は1億2百万円（前連結会計年度比67.8%増）となりました。

当期につきましては、特に従業員の質が確実に高まってきたことにより、経営の土台ができて、その上で業績が向上していくことを実感することができ、確かな手ごたえのある1年となりました。

当期は当社の基礎固めができ、その結果が収益にも表れました。この基礎固めができたことについては、当社が今まで推進してまいりました、経営理念の浸透が大きく寄与していると考えております。

当社では、平成12年4月に経営理念を実践するための行動を具体的にまとめた「コマニー理念手帳」を作成し、5年に渡り職場朝礼で輪読し、経営理念の浸透を図ってまいりました。この5年間の取り組みにより、従業員の行動はお客様への貢献という行動に確実に変わってきたと感じております。

「利他の心」で、お客様の立場にたって物事を考えることができるようになりました。

内部統制やコンプライアンスへの取り組みについて教えてください。

A 昨今、企業の不祥事が新聞紙上を賑わせ、それにより一瞬にして信用を失った企業もございました。

当社グループでは、昨年7月にコンプライアンス委員会を設置し、「倫理に基づく行動」と「法の遵守」という観点から、法人、個人それぞれの立場において活動の礎となるべき行動の具体的な基準をまとめ、平成17年3月に「コマニーグループ行動指針」として制定いたしました。

さらに、内部通報制度（ヘルプライン窓口）を設け、企業内の自浄作用を働かせております。

中国における取り組みについて教えてください。

A コマニー本体と中国子会社は、仕事の連携が取れるようになってきたと感じております。また、中国子会社の営業もレベルアップを図ることができました。

パーティションは、中国においては「新しい建材」に位置付けられています。当地におけるパーティションの認知活動は、銀行のコンピュータールームから始まり、前期、天津泰達国際心血管医院に納入したことで、今期は病院の大型案件を数件受注することができました。

中国におけるパーティションの認知は、我々の努力により着実に前進し、今後の成果に繋がっていくと考えております。

来期の取り組みについて教えてください。

A 間仕切業界は、首都圏を中心としたオフィス移転に伴うリニューアル需要や民間設備投資の回復から、景気に明るさは見えますが、受注競争の激化による市場価格の低下、原材料の価格上昇等、厳しい事業環境が継続すると予測されます。こうしたなか、コマニーブランド力を高めるとともに、利益体質の強化を目指し、以下の改革を進めてまいります。

- ① 営業では、営業方針を「顧客密着」とし、当社を継続してご愛用いただく「生涯顧客」づくりを推進してまいります。
- ② 生産から施工、納入では、標準品量産体制の強みを活かした即納体制の実現と受注物件毎の原価企画、製造から施工までのロスを排除し、付加価値の増大と生産性の向上を図ってまいります。
- ③ 新製品開発では、高齢者福祉市場、オフィス市場、工場市場を重点市場として位置づけ、顧客・市場に適應した製品を迅速に提供していくことにより、顧客満足度の向上を目指してまいります。
- ④ 人材の育成では、公正な企業活動と企業倫理を遵守することを基本に置き、理念研修をはじめ、スキルアップ研修を毎年継続的に実施し、社員一人ひとりが自己の果たすべき役割と責任を認識し、常に高い目標に挑戦する社内風土の醸成に努めてまいります。
- ⑤ 連結子会社の事業運営につきましては、特に中国連結子会社の収益基盤の確立を目指してまいります。また、グループ企業間の連携、補完、交流を積極的に行い、グループ全体としての企業力の発揮を目指してまいります。

■トピックス

東京国際空港（羽田）第2旅客ターミナルビルに「片面化粧パネル」を納入。



到着コンコース



ムービングサイドウォーク



到着ロビーフロア

当社は、2004年12月にオープンしました東京国際空港（羽田）第2旅客ターミナルビルに「片面化粧パネル」16,500㎡（東京ドームのグラウンド面積の約1.3倍）を納入しました。

地球環境にも配慮した、最新の粉体塗装設備を導入。



本社工場

当社は、本社工場を増築し、地球環境にも配慮した最新の粉体塗装設備を導入しました。本年1月より稼動を開始しています。

「粉体塗装」とは、有機溶剤（シンナー等）や水等の溶媒を用いない100%固形分の粉末状の粉体塗料を使用して行われる塗装方法であります。

従来は、液体の塗料を使用していましたが、使用後に余った塗料は再利用できませんでした。

しかし、粉体は塗布後の粉を回収して再利用することが可能であり、環境に優しい塗装設備となっています。

■当社製品について

快適空間・機能空間の創造

当社が目指しているのは、気持ちのいい空間・使いやすい空間を創造し、ご提供することです。

空間を構成するモノや要素はたくさんあります。

そのなかでもパーティションの果たす役割は大きくなり、その存在感を高めています。

「いい空間には、いいパーティションがある。」

コマニーはパーティションを通じて、今後もあらゆる空間に貢献していきます。

Office

オフィス空間

●オフィスビル ●テナントビル



快適空間 機能空間の創造

Factory

工場施設空間

●各種工場 ●研究所



Public

公共施設空間

●庁舎、会館 ●美術館、博物館
●駅、空港 ●ホテル ●金融機関 ●各種店舗



Hospital & Welfare

医療施設、福祉施設空間

●総合病院、福祉施設
●高齢者施設、養老施設



Educational

教育施設空間

●小、中、高等学校、大学
●専門学校、養護学校 ●幼稚園、保育園





●スタンディア

先進的なオフィス空間を創造。

スタンディアは、モダンなデザインで洗練されたオフィス空間を演出する、新しいタイプのスタンドタイプパーティションです。

シャープなイメージを醸し出すシルバーメタリックと木目柄のエココートパネルの他、多彩なバリエーションに対応します。

また、デザインセンスの高いハイパーティションと組み合わせると、連続した統一感のある空間を創造します。



●ニュート

コマニーが提案する「これからのオフィス空間」。

ニュートは、今までのオフィスにはない斬新なスタイルと、自由に変化できる柔軟性を持ち合わせたハイパーティションです。

パーツのデザインにもこだわり、見る角度や光の具合によって表情をかえるポールや新感覚の半透明のガスケット等、さりげないデザインが光ります。

また、部材の標準化により高いコストパフォーマンスと短納期を実現しています。



●HDエココート

天然木に近いぬくもりのある風合いが「癒し」と「やすらぎ」の空間を演出。

HDエココートは、多様なデザインバリエーションとパネルカラー（木目柄）の組み合わせにより、様々なシーンに対応したデザインが可能なハンキング・ドアです。

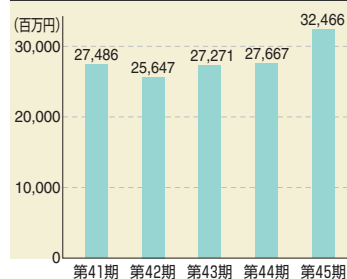
パネルの表面材のエココート鋼板は、環境に配慮したポリエステル樹脂印刷（非塩ビ素材）を使用しています。

■財務ハイライト

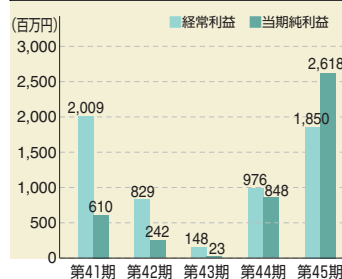
●連結財務ハイライト

回次 (決算年月)		第41期 (平成13年3月)	第42期 (平成14年3月)	第43期 (平成15年3月)	第44期 (平成16年3月)	第45期 (平成17年3月)
売上高	(百万円)	27,486	25,647	27,271	27,667	32,466
経常利益	(百万円)	2,009	829	148	976	1,850
当期純利益	(百万円)	610	242	23	848	2,618
総資産額	(百万円)	29,796	27,290	28,421	27,612	31,616
純資産額	(百万円)	17,779	17,942	17,351	18,083	20,545
1株当たり純資産額	(円)	1,556.43	1,571.03	1,558.52	1,693.82	1,923.29
1株当たり当期純利益	(円)	53.42	21.24	2.06	76.27	243.02
自己資本比率	(%)	59.7	65.7	61.0	65.5	65.0
自己資本利益率	(%)	3.5	1.4	0.1	4.8	13.6
株価収益率	(倍)	10.3	21.9	241.7	10.5	5.5

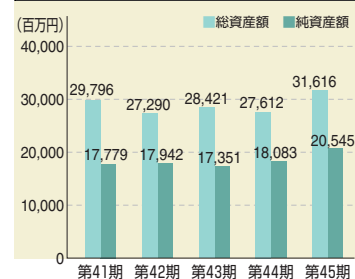
売上高



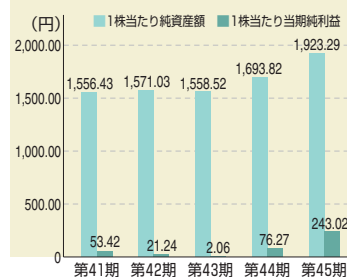
経常利益・当期純利益



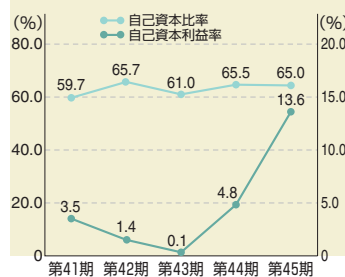
総資産額・純資産額



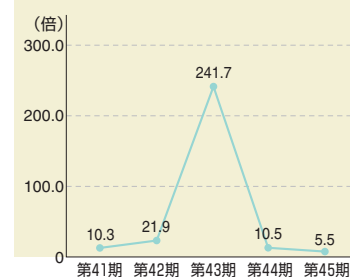
1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



自己資本比率・自己資本利益率



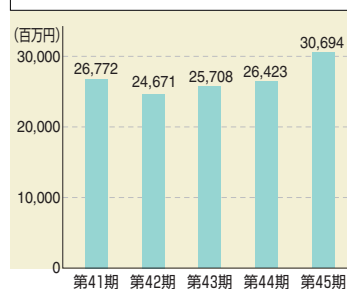
株価収益率



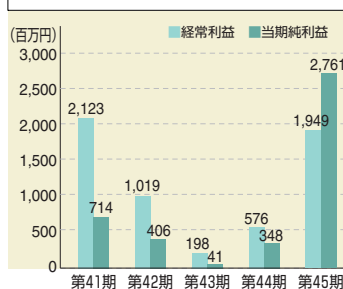
●個別財務ハイライト

回次 (決算年月)		第41期 (平成13年3月)	第42期 (平成14年3月)	第43期 (平成15年3月)	第44期 (平成16年3月)	第45期 (平成17年3月)
売上高	(百万円)	26,772	24,671	25,708	26,423	30,694
経常利益	(百万円)	2,123	1,019	198	576	1,949
当期純利益	(百万円)	714	406	41	348	2,761
総資産額	(百万円)	29,737	27,597	28,794	27,800	31,707
純資産額	(百万円)	18,899	19,011	18,656	18,723	21,363
1株当たり純資産額	(円)	1,654.32	1,664.58	1,675.74	1,753.80	2,000.01
1株当たり当期純利益	(円)	62.56	35.59	3.68	30.84	256.38
自己資本比率	(%)	63.6	68.9	64.8	67.3	67.4
自己資本利益率	(%)	3.8	2.1	0.2	1.9	13.8
配当性向	(%)	24.0	50.6	487.7	58.4	7.0

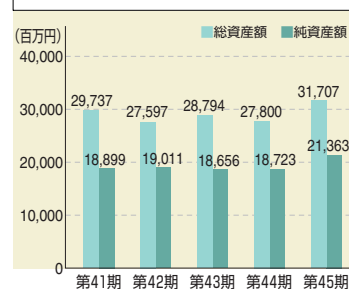
売上高



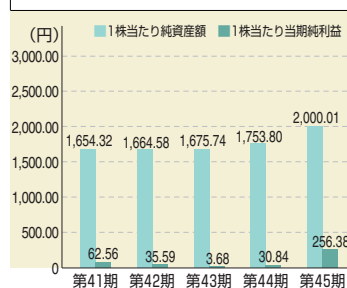
経常利益・当期純利益



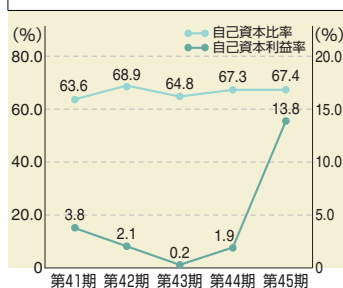
総資産額・純資産額



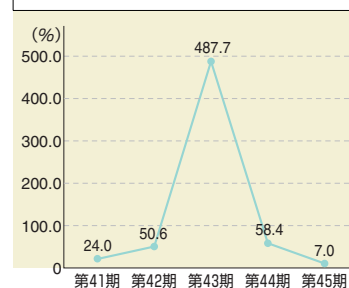
1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



自己資本比率・自己資本利益率



配当性向



●連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成17年3月31日現在)	前 期 (平成16年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	18,877,517	15,793,983
現金及び預金	4,355,716	4,267,561
受取手形及び売掛金	11,163,888	9,787,769
たな卸資産	1,507,291	1,015,506
繰延税金資産	1,158,703	279,298
その他	779,574	547,023
貸倒引当金	△87,656	△103,175
固定資産	12,738,952	11,818,616
有形固定資産	9,642,166	8,868,746
建物及び構築物	3,784,602	3,565,786
機械装置及び運搬具	1,919,706	1,423,874
土 地	3,470,543	3,546,681
その他	467,313	332,403
無形固定資産	347,805	466,497
投資その他の資産	2,748,980	2,483,373
投資有価証券	1,104,342	951,709
繰延税金資産	859,461	729,281
その他	855,176	883,382
貸倒引当金	△70,000	△81,000
資産合計	31,616,469	27,612,600

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成17年3月31日現在)	前 期 (平成16年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	6,432,852	5,138,520
支払手形及び買掛金	2,957,614	2,468,164
短期借入金	1,069,536	951,560
未払法人税等	188,047	19,344
賞与引当金	695,599	409,482
その他	1,522,055	1,289,968
固定負債	4,638,505	4,390,723
長期借入金	1,499,524	1,659,300
再評価に係る繰延税金負債	272,940	142,540
退職給付引当金	2,631,391	2,389,833
役員退職慰労金引当金	167,200	153,600
その他	67,450	45,450
負債合計	11,071,358	9,529,244
資本の部		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	6,124,667	3,903,425
土地再評価差額金	409,410	213,811
株式等評価差額金	238,890	156,439
為替換算調整勘定	△336,614	△300,480
自己株式	△425,423	△424,021
資本合計	20,545,110	18,083,355
負債及び資本合計	31,616,469	27,612,600

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前 期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
売上高	32,466,034	27,667,993
売上原価	21,253,421	18,050,035
売上総利益	11,212,613	9,617,958
販売費及び一般管理費	9,390,219	8,574,243
営業利益	1,822,393	1,043,714
営業外収益	123,425	121,846
受取利息及び配当金	10,446	9,822
その他	112,979	112,023
営業外費用	95,396	189,115
支払利息	43,069	62,568
その他	52,327	126,547
経常利益	1,850,422	976,446
特別損失	76,349	170,181
土地売却損	46,138	—
固定資産除却損	20,147	57,917
有価証券強制評価損	1,363	1,691
貸倒引当金繰入額	8,700	38,000
その他	—	72,573
税金等調整前当期純利益	1,774,073	806,264
法人税、住民税及び事業税	89,331	48,395
法人税等調整額	△934,151	△90,395
当期純利益	2,618,893	848,264

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前 期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,590,174	3,862,954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,263,410	256,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231,590	△1,662,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,017	△18,757
現金及び現金同等物の増加額	88,155	2,438,499
現金及び現金同等物の期首残高	4,267,561	1,829,062
現金及び現金同等物の期末残高	4,355,716	4,267,561

●個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成17年3月31日現在)	前 期 (平成16年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	17,765,945	15,041,071
固定資産	13,941,672	12,759,794
有形固定資産	8,258,285	7,488,591
無形固定資産	412,763	523,485
投資その他の資産	5,270,624	4,747,716
資産合計	31,707,618	27,800,865
負債の部		
流動負債	5,721,908	4,695,853
固定負債	4,622,048	4,381,728
負債合計	10,343,956	9,077,582
資本の部		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	6,606,602	4,242,873
土地再評価差額金	409,410	213,811
株式等評価差額金	238,890	156,439
自己株式	△425,423	△424,021
資本合計	21,363,661	18,723,283
負債及び資本合計	31,707,618	27,800,865

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前 期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
売上高	30,694,845	26,423,831
売上原価	20,214,677	17,438,197
販売費及び一般管理費	8,572,064	7,962,838
営業利益	1,908,102	1,022,795
営業外収益	136,136	135,486
営業外費用	94,518	581,887
経常利益	1,949,720	576,394
特別利益	50,000	—
特別損失	76,053	164,347
税引前当期純利益	1,923,666	412,047
法人税、住民税及び事業税	40,000	40,000
法人税等調整額	△877,714	23,146
当期純利益	2,761,381	348,900
前期繰越利益	307,652	278,080
土地再評価差額金取崩額	△195,599	△135,534
中間配当額	96,021	100,187
当期末処分利益	2,777,413	391,258

■グループ会社

クラスター株式会社

- 住 所 石川県能美市字粟生西60-2
- 資 本 金 4億9,800万円（当社出資比率100%）
- 事業内容 木製のパーティション、住宅用ドア製品の製造販売

コマネーエンジニアリング株式会社

- 住 所 大阪府東大阪市長田東1-68
- 資 本 金 9,800万円（当社出資比率100%）
- 事業内容 パーティションの販売、施工及び内装工事

株式会社エー・ピー・エム

- 住 所 石川県小松市園町ハ170-1益茂証券ビル3F
- 資 本 金 1億9,000万円（当社出資比率100%）
- 事業内容 広告、宣伝、販促の情報媒体及びデジタル媒体の企画、制作、販売

中国格満林集団

中国におけるグループ会社は、以下の3社で構成され、パーティションの製造、販売、輸出入販売を行っています。
格満林（南京）実業有限公司では、ISO9001：2000に引き続き、2003年の12月にISO14001：1996を認証取得いたしました。

格満林（南京）実業有限公司

- 住 所 中華人民共和国南京市江寧区民営科技园内天元中路36号
- 資 本 金 11,360,000米ドル（当社出資比率100%）
- 事業内容 パーティションの製造

格満林（南京）裝飾工程有限公司

- 住 所 中華人民共和国南京市江寧区民営科技园内天元中路36号
- 資 本 金 2,500,000米ドル（当社出資比率100%）
- 事業内容 パーティション、オフィス家具等の販売

格満林國際貿易（上海）有限公司

- 住 所 中華人民共和国上海市延安西路2299号上海世貿商城1804
- 資 本 金 300,000米ドル（当社出資比率100%）
- 事業内容 パーティションの輸入販売、施工及びオフィス家具、建材の輸出入販売

●会社概要（平成17年3月31日現在）

社名	コマニー株式会社 (英訳名 COMANY INC.)
本店	石川県小松市工業団地一丁目93番地
設立	昭和36年8月
主な事業内容	パーティション(間仕切)の製造および 設計、施工、販売ならびにパーティション 関連の内装工事
資本金	7,121,391千円
発行済株式総数	11,424,075株
株主数	2,575名
従業員数	844名



本社および本社工場

●役員（平成17年3月31日現在）

代表取締役社長	塚本 幹雄
代表取締役副社長	塚本 清人
常務取締役	田中 宗紀
常務取締役	吉田 守治
取締役	榎本 忠治
取締役	犬塚 博仁
取締役	奥田 進次
常勤監査役	宮本 勝一
常勤監査役	水野 英一
監査役	木村 禎一
監査役	吉田 敏夫

(注) 監査役のうち、水野英一、木村禎一、吉田敏夫の3氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

●役員報酬等の内容

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

- 取締役及び監査役に支払った金額

取締役 7名	133百万円
監査役 5名	31百万円

注) 報酬限度額

取締役：年額	250百万円以内 (平成3年6月27日株主総会決議)
(下記2.に該当する金額は含まず)	
監査役：年額	40百万円以内 (平成7年6月29日株主総会決議)
- 使用人兼務取締役に対する使用人給与と等相当額
34百万円
- 利益処分による役員賞与の支給額

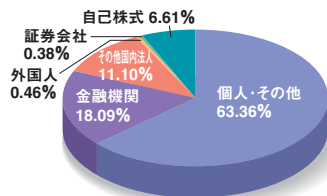
取締役	8百万円
監査役	2百万円
- 株主総会決議に基づく退職慰労金の支給額

取締役	—
監査役	2百万円

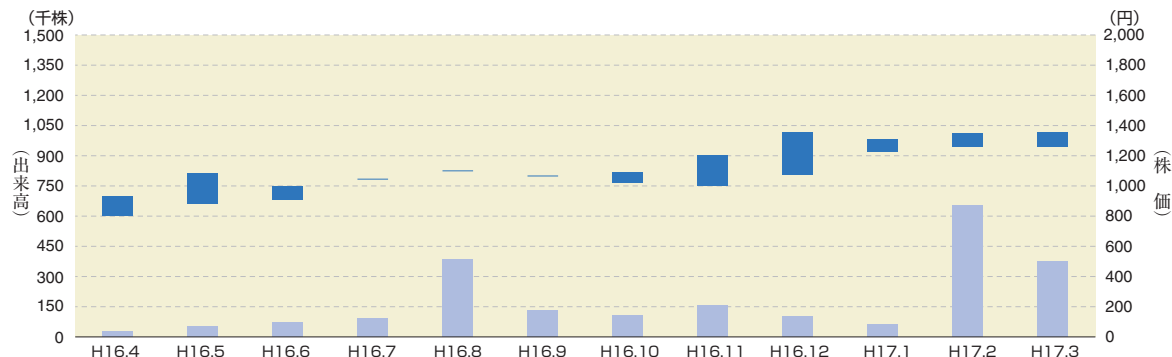
■株式情報

●株式の状況

発行する株式の総数 20,000,000株
発行済株式総数 11,424,075株
当期末株主数 2,575名



●株価および出来高の推移



●株式のご案内

決算期 3月31日
定時株主総会 6月開催
配当金受領株主確定日 3月31日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主(実質株主を含む。)または登録質権者にお支払いいたします。
なお、中間配当ををするときは9月30日。
基準日 3月31日 左記の他必要あるときは、予め公告いたします。
上場取引所 株式会社名古屋証券取引所
公告掲載新聞 日本経済新聞に掲載いたします。
ただし、商法第283条第5項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、
<<http://www.comany.co.jp/ir/koukoku/index.html>>
において提供いたします。
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先 郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (03) 3323-7111 (代表)
同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
(お知らせ) 住所変更、単元未満株式(端株)買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

●大株主／上位10名 (平成17年3月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	出資比率(%)
コ マ ニ ー 共 栄 会	817,100	7.15
塚 本 幹 雄	702,543	6.14
塚 本 清 人	570,018	4.98
コ マ ニ ー 従 業 員 持 株 会	529,974	4.63
株 式 会 社 北 國 銀 行	360,000	3.15
株 式 会 社 北 陸 銀 行	345,602	3.02
吉 田 敏 夫	232,258	2.03
木 村 直 子	223,296	1.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	220,500	1.93
白 榮 隆 司	176,900	1.54

(注) 当社は、自己株式755,306株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

株主優待制度新設のお知らせ

当社は、平成17年4月27日開催の取締役会において、株主優待制度の新設を決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株主優待制度の概要

(中間時)

優待内容 当社オリジナル図書カード
(1,000円)を贈呈

(期末時)

優待内容 当社オリジナルQUOカード
(1,000円)を贈呈

(対象株主)

中間時は9月末日現在、期末時は3月末日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主。

2. 開始時期

平成17年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主より実施いたします。



●営業所・グループ会社 住所一覧

●本社	〒923-8502 小松市工業団地一丁目93番地	TEL 0761(21)1144
●本社工場	〒923-8502 小松市工業団地一丁目95番地	TEL 0761(21)1230
◇東日本支社		
●東京第一～第七営業所 ●関東特販部	〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-39-5 水天宮北辰ビル6F	TEL 03(5695)0321
●福祉環境特販部	〒103-0004 中央区東日本橋3-7-19 友泉東日本橋駅前ビル2F	TEL 03(5651)2351
●札幌営業所	〒007-0868 札幌市東区伏古8条3-1-36	TEL 011(785)5553
●仙台営業所	〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町31-22	TEL 022(288)0388
●水戸営業所	〒310-0903 水戸市堀町字山中906-4	TEL 029(253)5681
●横浜営業所	〒222-0033 横浜市長北区新横浜3-17-6 イノテックビル9F	TEL 045(472)2771
●厚木出張所	〒243-0018 厚木市中町3-15-2 K.スクエアビル303号	TEL 0462(95)5950
●さいたま営業所	〒330-0801 さいたま市大宮区土手町2-15-1 小島MNビル9F	TEL 048(647)8830
●群馬出張所	〒370-0851 高崎市上中居町377-1 ファーストビル203号室	TEL 027(320)1188
●多摩営業所	〒190-0022 立川市錦町3-1-2 石井ビル5F	TEL 042(523)5021
●長野営業所	〒380-0911 長野市大字稲葉字八幡田沖2504-7	TEL 026(227)5562

◇東海・北陸支社(東海)		
●名古屋第一、第二営業所	〒460-0012 名古屋市中区千代田2-17-3 ケイデンビル2F	TEL 052(249)9600
●三河営業所	〒444-0845 岡崎市六名南1-5-4 都築ビル2F	TEL 0564(54)1221
●静岡営業所	〒422-8046 静岡市中島325-1	TEL 054(282)6506
●浜松営業所	〒435-0048 浜松市上西町1099	TEL 053(460)6321
◇東海・北陸支社(北陸)		
●金沢営業所	〒921-8061 金沢市森戸1-129	TEL 076(240)2277
●富山営業所	〒939-8261 富山市秋原400-1	TEL 076(421)5021
●福井営業所	〒918-8238 福井市和田2-2015	TEL 0776(27)2512
◇関西支社		
●大阪第一、第二営業所 ●関西特販部	〒577-0012 東大阪市長田東1-3-28	TEL 06(6789)0211
●京都営業所	〒612-8445 京都市伏見区竹田浄菩提院町56	TEL 075(612)0211
●神戸営業所	〒652-0803 神戸市兵庫区大開通3-1-23 ミワボンビル5F	TEL 078(577)5750
◇西日本支社		
●福岡第一、第二営業所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-9-2 YAOJセンタービル3F	TEL 092(414)7831
●岡山営業所	〒700-0973 岡山市下中野360-112	TEL 086(244)3553
●広島営業所	〒733-0035 広島市西区南観音6-11-20	TEL 082(295)2773
●高松営業所	〒761-8064 高松市上之町1-9-28	TEL 087(865)5226
●松山営業所	〒791-8001 松山市平田町306-1	TEL 089(978)7272
●鹿児島営業所	〒890-0046 鹿児島市西田2-15-14	TEL 099(257)7300
◇クリーンルーム事業部		
●クリーンルーム事業部	〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-39-5 水天宮北辰ビル5F	TEL 03(5641)5658
●埼玉工場	〒355-0342 比企郡玉川村日野原83	TEL 0493(65)0822
◇オフィス環境事業部		
	〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-39-5 水天宮北辰ビル5F	TEL 03(5641)5651
●クラスター株式会社	〒923-1101 能美市字粟生西60-2	TEL 0761(57)4557
●コマネーエンジニアリング株式会社	〒577-0012 東大阪市長田1-68	TEL 06(6618)5350
●株式会社エー・ビー・エム	〒923-0801 小松市園町ハ170-1 益茂証券ビル3F	TEL 0761(22)5066



www.comany.co.jp

コマニー株式会社 〒923-8502 石川県小松市工業団地一丁目93番地 TEL.0761-21-1144 (代)

R100



環境にやさしく…
本紙は再生紙を使用しております。